

# 子宮肉腫に対する ifosfamide, adriamycin, cisplatin (IAP) 療法の 後方視的検討 患者様の情報の研究利用についてのお知らせ

## 本研究の目的

本研究は、慶應義塾大学医学部産婦人科で行っている臨床研究です。

目的は、子宮肉腫の方を対象として ifosfamide, adriamycin, cisplatin を用いた化学療法(以下、IAP 療法)を行った際の効果や副作用などを調べることです。その上で、将来的に子宮肉腫のより良い治療法の開発を目指していくものであります。

## 本研究の概要

平成 12 年から平成 23 年に、慶應義塾大学病院産婦人科において子宮肉腫と診断され、IAP 療法を施行された方を対象に、診療記録(カルテ)の中から、各種の診療情報(年齢・組織型・進行期、副作用、予後など)を記録した上で、血液検査や画像検査(MRI, CT など)、病理検査の結果とともに解析いたします。研究対象として最大 20 名程度の患者の皆様診療録および検査の情報を利用させていただきます。

研究期間 平成 23 年 11 月 28 日～平成 27 年 3 月 31 日

## プライバシーの保護に関して

研究において利用させていただく臨床情報や検査結果は既に診断治療のために施行されたものを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。またこれらの研究課題のすべては、慶應義塾大学医学部倫理委員会における審査をうけ承認を得られたものです。

## 研究計画書の開示

研究にご協力いただける方は、ご希望があれば研究実施計画書(プロトコール)を閲覧可能です。

## 研究成果の公表

研究終了後、2 年以内に学会報告および学術誌への投稿にて公表の予定です。

## 知的財産権の帰属

研究を通じて知的財産権が生じる可能性があります、個々の研究協力者へはその権利は帰属しません。

もしこの研究についてのご質問等がおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。また御自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者に御連絡ください。なおその場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは、全くございませんのでご安心ください。

平成 23 年 12 月 1 日

## 研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科教室 山上 亘

連絡先: 03-5363-3819 (FAX 03-3353-0249)

